

平成 2 1 年度
教育委員会予算要求方針

【目次】

1	平成 2 1 年度教育委員会予算要求総括表	1
2	平成 2 1 年度教育委員会経営方針	2
3	重点的に取り組みを行う主なもの	3
4	事務事業の見直し等	9

1 平成21年度教育委員会予算要求総括表

【一般会計】

平成21年度要求総額 25,264,503千円
 (平成20年度予算額 23,653,256千円)
 前年度比 +6.8%

《主な事業》

(単位：千円)

事業名	平成21年度 予算要求額 A	平成20年度 予算額 B	増 減 A - B
「新・北九州市教育行政総合計画(仮称)」の策定	2,229	0	2,229
耐震補強事業	723,366	230,400	492,966
学力向上施策の推進	147,412	40,260	107,152
エコライフ・キッズ育成事業	20,020	0	20,020
学校支援地域本部事業の推進	16,828	0	16,828
家庭教育の充実	8,852	0	8,852
松本清張生誕100年記念事業	22,600	20,000	2,600
市立図書館の整備	89,216	46,900	42,316

2 平成21年度教育委員会経営方針

教育委員会では、市の新基本構想及び新基本計画策定、市民全体で次代を担う人材を育む教育のあり方について議論してきた「子どもの未来をひらく教育改革会議」における意見を踏まえ、現在の「北九州市教育行政総合計画(いきいき学びプラン)」に替わる新たな計画を策定する。

また、「教育日本一を実感できる環境づくり」や「多様な学びの場と潤いのある文化空間の提供」を実現するため、経営の効率化を図りながら市民ニーズを的確に反映した施策を展開していく。

(1) 子どもの可能性をひらく学校教育の充実

課題

- ・子どもの学力・体力の向上

方針

- ・人として大事な「思いやりの心」や「規範意識」などの豊かな心、確かな学力、体力に支えられた「生きる力」を身につけた子どもを育成するため、市民が安心し、信頼して子どもを託すことができる教育環境を整備する。

(2) 家庭、地域の力を活かした教育環境の整備

課題

- ・家庭や地域の教育力の向上

方針

- ・教育の原点ともいえる家庭の教育の重要性を広く市民に理解してもらうための学習の場を提供するとともに、地域全体で子どもたちに関心をもってもらい、地域で子どもたちを大きく育ていこうとする機運の醸成と地域の教育力の向上を推進する。

(3) 生涯学習及び芸術・文化の充実

課題

- ・多様な学習機会や学習情報、学びの場の創出
- ・豊かな感性の育成と教養文化の醸成

方針

- ・市民が気軽に学びを継続するための学習機会や学習情報を提供するとともに、図書館の充実など社会教育施設の整備・充実を図る。
- ・教育委員会が所管する芸術・文化施設の更なる活用を図り、芸術・文化の振興を図るとともに、市民が芸術・文化に接する機会を拡大し、豊かな感性と教養文化の醸成を図る。

3 重点的に取り組みを行う主なもの

<子どもの可能性をひらく学校教育の充実>

(1) 「新・北九州市教育行政総合計画(仮称)」の策定
2,229千円

1・新規

(事業概要)

現在、平成18年3月に策定された「北九州市教育行政総合計画(いきいき学びプラン)」を基に教育行政に取り組んでいる。

現計画の計画年度は平成18年度から22年度までの5年間であるが、市全体の基本構想、基本計画が新たに策定されることを受け、その方向性や市民全体で次代を担う人材を育む教育のあり方について議論してきた「子どもの未来をひらく教育改革会議」における意見等を踏まえ、現計画に替わる新たな計画を策定する。

【成果指標】

市の新たな基本構想、基本計画の方向性、教育改革会議意見を反映させた新計画の策定。

(2) 学校施設整備の推進
4,455,932千円

1・拡充

児童・生徒・保護者からの要望が強いトイレの改修をはじめ、老朽校舎の改築、耐震補強などの施設整備を促進する。

・さわやかトイレ整備事業
939,600千円

(事業概要)

これまで進めてきた悪臭対策、小学校トイレ完全男女別化、洋便器の増設、内壁及び天井等の塗装を引き続き実施し、「明るく、清潔な」トイレを整備する。

【成果指標】

平成22年までに校舎の大規模改修・改築に着手する予定の学校や平成元年以降に建設された学校を除く、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校及び幼稚園の整備を行う。

- ・耐震補強事業 723,366千円
 (事業概要)
 学校施設に必要な耐震性を確保するため、施設の耐震化を図る。
 【成果指標】
 平成21年度対象校
 小学校17校、中学校6校、特別支援学校1校
 幼稚園2園
- ・大規模改修事業 1,167,774千円
 (事業概要)
 教育環境の改善及び施設の長寿命化を図るため、学校施設の耐震補強にあわせて、老朽化した給排水管、電気設備の改修や床、天井及び内外壁の改修を行う。
 【成果指標】
 耐震補強工事と併せて年6校程度実施。
- ・小中学校建替事業 1,545,192千円
 (事業概要)
 老朽化による学校施設の建替を計画的に実施し、教育効果の向上と安全でうるおいのある教育環境の整備を図る。
 【成果指標】
 平成21年度は前年度からの継続事業4校、新規2校を実施する。
- ・学校施設ふれあい事業 80,000千円
 (事業概要)
 学校を児童生徒と地域や保護者とのふれあいの場とするため、学校施設の整備にあたって地域の意見を聴くなど、住民参画による安全で環境に配慮した特色ある学校づくりを行う。
 【成果指標】
 年間に小学校6校程度、中学校3校程度実施。

(3) 35人以下学級の拡大 80,900千円

1・拡充

- (事業概要)
 小学校1年生及び中学校1年生で実施してきた35人以下学級を、小学校については2年生まで拡大する。また、これまでの少人数習熟度別指導や生徒指導等の教育水準

を維持するための市費講師を配置する。

【成果指標】小学校2年生の1学級あたり平均児童数の減

【目標】30.4人(少人数学級を実施しない場合)

27.8人(少人数学級を実施する場合)

【効果】2.6人減

(4) 学力向上施策の推進

147,412千円

1・拡充

(事業概要)

教員が子ども一人一人に向き合う環境づくりの観点から、退職教員や経験豊かな社会人等の外部人材を非常勤講師として配置し、教育活動充実のために活用する。

また全国学力調査の結果、基礎学力、活用力などにおいて、課題が見られたため、学力および教員の授業力向上のための施策を推進する。

【成果指標】

全国学力調査での全国平均の実績

(5) エコライフ・キッズ育成事業

20,020千円

1・新規

(事業概要)

本市は温室効果ガスの大幅削減など地球温暖化対策に先駆的に取り組む「環境モデル都市」として選定された。

今後「環境モデル都市」の実現のためには、小学校からの環境教育の充実が不可欠となるため、全小学校において環境教育の推進を図る。

【成果指標】

環境保全に主体的に取り組む小学生の育成

(6) 食育を通じた小児生活習慣病対策モデル事業

7,056千円

1・新規

(事業概要)

食育の観点から、各区毎にモデル校を決め、定期健康診断で生活習慣病の疑いのある児童生徒を対象に小児生活習慣病検診を実施する。

【成果指標】児童生徒の健康対策の仕組みづくりの確立

(7) 子どもたちの体力アップの推進 90,086千円

1・拡充

(事業概要)

子どもたちの知育、徳育を支える基盤となっている体力について、ダンスによる体力アップなど、小学校の低学年からの取組と中学校における部活動の振興により、子どもたちの体力アップの推進を図る。

・体力アップ推進事業 31,546千円

・部活動推進事業 58,540千円

【成果指標】新体力テストでの全国平均の実績

(8) (仮称)「特別支援教育介助員」の配置

16,746千円

1・新規

(事業概要)

新たに(仮称)「特別支援教育介助員」を配置し、通常の学級に在籍している介助の必要な児童生徒の援助を行う。

【成果指標】

児童生徒の障害の状況や支援の必要性に応じた介助員の配置

< 家庭、地域の力を活かした教育環境の整備 >

(1) スクールヘルパーの充実

68,603千円

1・継続

(事業概要)

平成20年度に引き続き、安全対策、教育活動支援活動に加え、「特別支援教育ヘルパー」を配置する。

また子どもたちの学びをサポートし、校外での授業や実技における安全管理スタッフとしての活動を行うなどの体制を整えるとともに、安全対策を充実させる。

【成果指標】

スクールヘルパー活動のべ人数 100,000人

(2) 学校支援地域本部事業の推進

16,828千円

1・新規

(事業概要)

学校の教育活動のうち、地域等の人材を有効に活用することにより、一層効率的で、教員の負担軽減が見込まれる場合において、数校程度をモデルとして学校単位に「学校支援地域本部」を立ち上げ、任命されたコーディネーターが、学校ニーズに応じた地域等の人材を学校に紹介・派遣することを通して、学校の教育活動を支援する。

【成果指標】

- ・ 運営協議会の設置
- ・ 学校支援地域本部の設置
地域教育協議会の設置、
地域コーディネーターの配置
- ・ 人材バンクの構築

(3) 家庭教育の充実

8,852千円

1・新規

(事業概要)

子育て中の保護者に対して、きめ細かく家庭教育の重要性を啓発するとともに、家庭教育の意義および家庭への支援を地域等に啓発する。

【成果指標】

- ・ 家庭教育講演会開催
- ・ 家庭教育に関する情報の提供
- ・ 家庭教育学級の拡大

< 生涯学習及び芸術・文化の充実 >

(1) 松本清張生誕100年記念事業

22,600千円

2・拡充

(事業概要)

本市出身の作家・松本清張の生誕100年にあたる平成21年に「清張を生んだ文化創造都市・北九州市」を全国に発信する記念事業を実施する。

【成果指標】

「清張を生んだ文化創造都市・北九州市」を全国へ向けてアピールする

(2) 市立図書館の整備

89,216千円

3・拡充

(事業概要)

老朽化した若松図書館島郷分館については移転改築し、蔵書数の増など図書館機能の充実を図る。

また、戸畑、八幡図書館については、必要な改修措置を講じ、快適な利用環境を備えた図書館をめざす。

【成果指標】

市立図書館の利用促進を図る

(3) 黒崎副都心「文化・交流拠点地区」整備事業

(H 2 1 ~ H 3 9 年度分の債務負担

3,099,892千円)

3・新規

(事業概要)

黒崎副都心「文化・交流拠点地区」において、情報、人が交流する生涯学習拠点として図書館を整備する。

(4)(仮称) 世界遺産登録推進経費

3,000千円

2・新規

(事業概要)

「九州・山口の近代化産業遺跡群」が世界遺産の暫定リストに登載されたことを受けて、関係県市で設立される推進協議会の経費を計上する。

【成果指標】

世界遺産への登録

4 事務事業の見直し等

(1) コンピュータが使える小学生育成事業

情報化推進員を小学校、特別支援学校小学部に派遣し、教員と共同で授業を行うことで、児童のコンピュータ活用能力の向上を図っていたが、教員のコンピュータ指導能力が向上してきたため、情報化推進員の配置を減少する。